



2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

Weekly Report Niigata



ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー
2017-18 年度テーマ



2017～18 年度
新潟ロータリークラブ会長
徳永 昭輝

新潟 RC 10月第 4例会 (2017.10.24) No.3204

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 徳永 昭輝会長挨拶

先週は、超大型台風21号の影響で、22日に予定していた新潟RCゴルフ同好会のゴルフコンペも中止となってしまいました。この台風による被害は全国各地に及び、被災に合われた皆様に対して心からお見舞い申し上げます。

また、東日本旅客鉄道(株) 新潟支社長の今井正人さんを会員に迎え、後程紹介させていただきますが、現在の会員数は95人となりました。

この週末には、第256地区の地区大会が行われます。おかげで49人の登録ができました。ご協力に感謝申し上げます。

今日は、職業奉仕事業の「職場訪問」がありますので、1時30分には終了の点鐘をさせていただきます。

～RCの同好会について～

新潟RCには、野球同好会、ゴルフ同好会、料理研究会の3つの同好会があります。

今日は同好会について考えてみたいと思います。

野球同好会は、平成20年に前橋RCに野球部が誕生し、新潟RCでは、新潟RC70周年を契機に平成22年5月16日会則が決められ、正式に同好会が発足した。初代会長には小柳実さんが就任、平成22年5月16日に前橋RCと前橋産業スポーツセンターグラウンドで第1戦が行われた。全員野球で臨んだ新潟RCが、前橋RCの手心もありましたが10対9で勝利したと当時の模様を述懐しています。(創立70周年記念誌) 参加したメンバーは、相澤信介、樋熊紀雄、石川治彦、加賀田亮一、金親顯男、永野寿幸、小柳実、白勢仁士、鈴木滋弥、高橋清文、竹石松次、玉木茂、塚田正幸、若槻良宏、山田隆一、横村正一、ローターアクトの若林幸男、中野直人、応援団長小林敬直会長 19名。平成29年10月21日、エコスタジオで旧新潟市内親善野球大会が開催され、新潟RCは2回戦で新潟中央RCと対戦し9対8で勝利、午後新潟北RCとの対戦では惜しくも0対15で敗れましたが、堂々3位の成績でした。夜の懇親会では河西弘太郎選手がMVPに選ばれました。現在、高橋清文監督から山田隆一監督の下で活躍を続けています。

ゴルフ同好会は、2010-2011年度の樋熊会長の発案で、柴田史郎会長、高橋康隆副会長、小林建、吉田和弘、若槻良宏幹事を中心に活動しています。今は、毎年前橋RCと交流戦の

他に、毎月コンペを行っています。前橋RCとの第1回交流戦は、2011年10月30日に「赤城ゴルフ倶楽部」行われました。新潟RCの若杉武さんが優勝(47.48; NET71)、金親顯男さんが準優勝(45, 45; NET 72)、またブービーメーカーは細野義彦さん、ブービーは田村貫次郎さんでした。新潟からは柴田会長ほか12名が参加していました。

平成29年度新潟RCの例会の成績

優勝 準優勝 3位

4月	高橋康隆	小飯田澄雄	海津博之
6月	堀 盛富	井原健至	竹田正弘
7月	井原健至	竹田正弘	田中克典
8月	高橋康隆	山田 眞	吉田和弘
9月	小飯田澄雄	井原健至	柴田史郎

10月のゴルフコンペは、台風21号の影響で中止となりましたが、雨の中9名がゴルフを強行。幻の優勝者は井原 健至さんでした。雨のも負けずに頑張ったメンバーは 準優勝高橋清文、3位町田智;あわやホールインワンのシーンもありました。他、池上茂樹、竹田正弘、小林建、樋熊紀雄、細野義彦、徳永昭輝が……。

料理研究会は、吉田和弘会員のお世話もあり、若杉武会長を中心に、現在までに22回の研究会を開催してきました。

新潟RCの同好会活動をもっと活性化するために、新潟クラブとしてどのような援助をすることが出来るか、また同好会の会員がどのように考えているか、会員の意見を聞くためにアンケート調査を実施いたします。

野球クラブは前橋RCとの交流や旧新潟市内親善野球大会などで活躍しており、またゴルフ同好会でも優勝者や準優勝者は優勝した時にはニコニコに寄付をしたり、また料理研究会は、参加した会員にお料理レシピを配布するなど目に見えないところでの出費があるように思われます。同好会を新潟RC〇〇クラブとし、年間予算を付けてもっと活性化を計る……？

いろいろな意見があると思います。

ぜひご意見を！

(3) 新会員の紹介



東日本旅客鉄道(株)
新潟支社長 今井 政人君
ご紹介 高木 言芳君
所属委員会 ニコニコボックス
委員、社会奉仕委員

この度は、伝統ある新潟ロータリークラブへの入会をお認めいただきまして誠にありがとうございました。前任の弭間支社長を引き継いで、6月23日付でJR東日本新潟支社長になりました今井 政人(いまい まさひと)です。出身は千葉県で現在は新潟市内に自宅があります。前職は、JR東日本の投資計画部というところで勤務をしていました。新潟での5年ぶり2回目の勤務となります。新潟エリアには、他の地域に無いきらりと光る様々な観光資源、地域資産が豊富でありますので、その掘り起しと情報発信を積極的に進めていきたいと考えております。来年には新潟駅において連続立体交差事業の第一期開業と新幹線・在来線の同一ホーム乗り換えも実現しますので、県をはじめとする地域の皆さまと一緒に街づくり、観光流動創造に精一杯取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(4) 3分間スピーチ

- ・(株)小甚 代表取締役社長 小山 楯夫君



- ・(株)双葉造園 代表取締役社長 松本 英明君



- ・(株)テレビ新潟放送網
代表取締役社長 務台 昭彦君



(5) 委員会報告

・坂井職業奉仕委員長、例会終了後、職場訪問に行かれる方はイタリア軒前よりバスにご乗車願います。コピーを提出した免許証または保険証を必ずご持参願います。

(6) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(池上 茂樹委員)

岡村 健吉君 新田 幸壽君

池上 茂樹君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟副委員長)

小林 悟君

(7) ニコニコボックス紹介(金井 政則委員)

- ・野球同好会一同 お蔭様で7クラブ親睦野球大会3位に入賞しました。ありがとうございます。
- ・河西弘太郎君 7ロータリーの親睦野球大会に初参戦致しました。チームの勝利には何も貢献できませんでしたが、コロコロ転がりながら頑張った結果、MVP をいただきました。ありがとうございます。因みに今は体中が痛いです。
- ・鈴木 滋弥君 結婚祝いのお花を頂き有難うございました。50年目です。
- ・高木 言芳君、高橋 康隆君 今井政人さんの入会を祝して私(高木)のチョンボで入会がのびのびになってしまいました。申し訳ありません。これからのロータリーライフを大いに満喫されて下さい。
- ・武田 直己君
- ・津久井勝之君 週末に開催された市内ロータリー親善野球大会で仕事とは違った気持ちの良い汗を楽しい仲間と流すことが出来て、さらに3位入賞となりニコニコ！

(8) 幹事報告(織戸幹事)

- ・例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「雪の間」で開催致します。
- ・11月7日のガバナー公式訪問後のクラブ協議会にご出席される方は、本日配布致しました現況報告書をお持ち願います。
- ・今週末は地区大会です。28日はホテルオークラ新潟で12:00登録開始、29日は朱鷺メッセにて8:30登録開始です。ご参加の方は、名札を幹事よりお受け取り下さい。

(9) 卓話「新潟今昔写真の取り組みと今後の展望」

新潟今昔写真プロジェクト事務局

富山 聡仁氏



- (10) 10月24日例会の出席率 73.63 %
会員数 95名(出席免除会員 8名)
出席者 67名(出席免除会員 4名を含む)
(2週間前メーク後 94.44 %)

11月7日の例会予定 「新保ガバナー公式訪問」

10月24日 理事会報告 出席者8名

1、ガバナー公式訪問の確認 ⇒ 承認

・ガバナー公式訪問スケジュール計画書の確認
徳永会長からの要請で、夕方の懇親会へのお誘いを提案してみる。

・ガバナー出席クラブ協議会進行表及び席順の確認
次年度会長エレクトは総会前で未承認につき、席は省略する。

2、11月のプログラム ⇒ 承認

11月7日 新保ガバナー公式訪問

11月14日 卓話「新潟が主役！映画『ミッドナイト・バス』制作の舞台裏（仮）」

新潟日報社

論説編集委員室次長 大塚清一郎氏

11月21日 卓話「気候変動の衝撃！

新潟の気候が変わる？」

新潟地方気象台次長 吉松和義 氏

11月28日 会員スピーチ「2018 新潟経済はどうなる？（仮）」

日本銀行新潟支店支店長 武田直己 君

3、その他

・10/21（土）開催 「7RC親睦野球大会」参加者及び応援者のメイクアップ扱い ⇒ （事後）承認

・同好会への補助金についてアンケート（お願い） ⇒ 承認

同好会会員にアンケート調査を実施。意見集約を行い、補助金の支給有無、同好会の役割等、当クラブにとってのあり方を明確化したい。

職場訪問報告

日時 平成29年10月24日 15時-18時

訪問先 柏崎刈羽原子力発電所

職業奉仕委員

金井 政則

前日の台風21号の風雨から一転して快晴の24日の例会後バスにて移動。坂井職業奉仕委員長のリードに徳永会長、山本担当理事をはじめとして23名の視察となりました。視察は①サービスホールでのモニター・展示物を活用した再稼働等への取組み、原子力規制委員会の状況の説明、②バスでの発電所内（東京ドーム90個分の広さ）の各施設の視察、③23名が2班に分かれての6-7号機原子炉建屋の内部での見学となり、いずれも東京電力の副所長をはじめとして丁寧な解説をして頂きました。滞在約3時間の間、安全性向上の為の取組みのみならず、原発のメカニズム、東京電力社員1126名協力企業社員5453名の役割等についても解説を受け、稼働停止中の原発であっても多くの方が継続して勤務する状況は改めて驚きを覚えました。東日本大震災後に再稼働した九州及び関西電力の加圧式の原発と違い沸騰水型軽水炉ということもあり、また自然災害以外の地政学リスクや様々な議論もありまだまだ時間を要するとも感じました。原子炉格納容器の中も見学し23名が様々な思いを持ち帰路につきました。

